

あけまして

おめでと〜ございます

公益財団法人 友愛

題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

公益財団法人 友愛

〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文芸ビル2階

TEL: 03-5684-3188

FAX: 03-5684-3186

E-Mail: you-i@yuai-love.com

http://yuai-love.com

編集人：羽中田元美

隔月1回 10日発行

会費(4月〜3月)

個人／3,000円以上

法人／10,000円以上

写真：出逢進行
撮影：太田次郎

相互尊重・相互理解・相互扶助

理事長 鳩山由紀夫

機関紙「友愛」を手に取ってくださり、ありがとうございます。そして新春のお慶びを申し上げます。新年はいかにお過ごしでしたか。

私は最近、軽井沢で年を越すことにしています。少し寒さは厳しいのですが、雑事に追われることがないので、仕事に専念しています。

祖父一郎は軽井沢が大好きでした。一郎が東条内閣に絶望し、翼政会(翼賛政治会)を脱会し、隠棲し晴耕雨読の日々を送ったのは軽井沢でした。戦後、追放処分を受けた後にもしばしば軽井沢で暮らしていました。

その晴耕雨読の毎日の中で、クーデンホーフ・カレルギー伯の著書『全体主義国家vs人間』に出会い、『自由と人生』と言う本に訳したので、一郎がカレルギー伯の友愛に心酔したのは軽井沢でした。ですから友愛イコール相互尊重・相互理解・相互扶助の発祥の地は軽井沢とも言えるでしょう。

さて、その友愛活動ですが、昨秋、高市早苗首相が誕生し、

のは当然でしょう。内田樹氏の言によれば、「米中が戦争を回避しようとしている時に、日本人がいたずらに緊張を高めている、状況が理解できない愚かなプレーヤー」と言うしかありません。「一人の政治家の軽率でどれほど国益が失われるか、考えると絶望的な気分になる」ともおっしゃっています。その通りです。

そこで東アジア友好関係の推進として頼りになるのが韓国です。一昨年韓国の全州大で「友愛小論文コンテスト」を開催し、大成功裡に終わりました。昨年はそれに続き、ソウルの延世大学校で「友愛小論文コンテスト」を実施することができました。

評判通り延世大学校の学生は優秀で、論文の内容は素晴らしいものが多いのですが、最近、AIが発達しており、彼らの日本語力を審査できているのか、何のためのコンテストなのか、友愛小論文コンテストの在り方自体を議論する必要があります。

蛇足ながら、一言付け加えますと、年末にソウルから電車で2時間あまり南東の平山にお住いの、文在寅大統領のお宅をお訪ねしました。おかげさまで文大統領と意気投合し、北朝鮮が核保有を主張する中で、東アジアを平和に導くためには、日韓がもつと主導的に協力することが必要だとの認識で一致しました。

O E J A B 派遣員事業は毎

年優れた若者たちをウィーンに送ることが出ています。特に今回は人数を2人増やして8名を派遣することにしました。福祉や難民問題など見聞を深めて、将来それぞれの道で役立つ学びをしてくれることと信じています。

過去のO E J A B 派遣員が中心となって結成している友愛ユニオンのメンバーは、積極的に友愛の勉強会や懇親会を企画してくれており、今後の友愛の活動に新しい道を切り拓いてくれるのではないかと大いに期待しています。

ウクライナ戦争は未だ終焉せず、ガザでも多くの命が奪われ続けています。

トランプ大統領は麻薬対策と称してベネズエラを攻撃しています。

日本は韓国、台湾や欧州の多くの国と共に軍事予算を急速に増加させています。

世界の指導者に欠けているのは、「相互尊重・相互理解・相互扶助」の友愛です。友愛が広がれば、軍事予算を拡大する必要はありませんし、世界から戦争の火種が消えるのです。

お花畑と揶揄されようが、今こそ友愛を世界に浸透させていかねばなりません。私たちはその責務があることを認識して行動して参りたいと思っています。どうかご協力を切にお願いいたします。



友愛時評

午年の新春、京都の上賀茂神社や鞍馬寺、各地の駒形神社など、馬にゆかりのある神社は初詣客に大人気だった。左馬や馬蹄などのお守りもよく売れていた。馬にまつわるグッズやアート作品も様々なものが出ています。▼馬をモチーフとした画家として、マルク・シャガールを思い浮かべる人も多いのではないだろうか。帝政ロシア領ヴィテブスクの敬虔なユダヤ人家庭に生まれたシャガールは、サンクトペテルブルクの美術学校で学び、多くの作品をパリや南仏で描いた。第二次大戦中にはナチスの迫害を避けて米国に亡命している。「愛の画家」とも称されるシャガールにとって、馬は故郷への郷愁、生命の力強さや神の祝福など様々なものを象徴していると解釈されている。▼ニューヨークの国連本部ビルに設置された巨大なステンダグラス「平和の窓」は、コンゴ紛争の和平交渉に向かう航空機が墜落して客死したハマーシヨルド国連事務総長を追悼するために一九六四年に制作された。その除幕式でシャガールは「私は魂を込めて平和のために命を落とした全ての人々の霊魂の深遠さを伝えたいと願った。それが国連創設の真の目的であったのだから」と述べた。▼シャガールの生まれ故郷の近くでは、ウクライナ戦争が5年目を迎えるようになっている。「平和の窓」の左半分には描かれている人間と動物が調和的に暮らす楽園の実現は、見果てぬ夢なのかもしれない。それでも、ハマーシヨルドが「国連は人類を天国に連れて行くためではなく、地獄から救うために作られた」と言ったことは何とか実現できるような望んでいる。(ヒゲ)

2025年度OEJAB派遣員が語る「期待と抱負」 過去最大8名の派遣員が勢揃い

事前勉強会の感想も含めて、大いにその意気込みを語りました（掲載順不同）

平和とは何かを探究

広島大学大学院
修士2年

豊田 万葉

この度は、2025年度OEJAB派遣学生として選抜していただき、誠にありがとうございます。昨年から応募させていただき、この度ついに派遣員として訪問できる機会を頂けて嬉しい気持ちでいっぱいです。選抜してくださった方々に感謝の意を示すとともに、充実した滞在になるよう精一杯務めさせていただきます。

先日行われた事前勉強会では、友愛の理念やクーデンホフ・カレルギー伯を中心としたオーストリアの歴史等の学習、鳩山会館の見学、新藤先生の特別講演の聴講と、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。

この度は、2025年度OEJAB派遣学生として選抜していただき、誠にありがとうございます。昨年から応募させていただき、この度ついに派遣員として訪問できる機会を頂けて嬉しい気持ちでいっぱいです。選抜してくださった方々に感謝の意を示すとともに、充実した滞在になるよう精一杯務めさせていただきます。

「平和な共生社会」を創造する力

富山大学芸術
文化学部4年

渡辺 咲耶

この度は、OEJAB派遣員に選抜していただき、ありがとうございます。

このような貴重な学びの機会を頂戴したからには、自身の五感をフルに働かせ、多くのことを吸収してまいります。

私の目標は、文化芸術と対話を通じて、自ら「平和な共生社会」を創造する力を養い、それを体現する存在となることです。大学では、芸術文化学と国際関係

この度は、2025年度OEJAB派遣員に選抜していただき、ありがとうございます。

このような貴重な学びの機会を頂戴したからには、自身の五感をフルに働かせ、多くのことを吸収してまいります。

私の目標は、文化芸術と対話を通じて、自ら「平和な共生社会」を創造する力を養い、それを体現する存在となることです。大学では、芸術文化学と国際関係

この度は、2025年度OEJAB派遣員に選抜していただき、ありがとうございます。

このような貴重な学びの機会を頂戴したからには、自身の五感をフルに働かせ、多くのことを吸収してまいります。

私の目標は、文化芸術と対話を通じて、自ら「平和な共生社会」を創造する力を養い、それを体現する存在となることです。大学では、芸術文化学と国際関係

この度は、2025年度OEJAB派遣員に選抜していただき、ありがとうございます。

このような貴重な学びの機会を頂戴したからには、自身の五感をフルに働かせ、多くのことを吸収してまいります。

私の目標は、文化芸術と対話を通じて、自ら「平和な共生社会」を創造する力を養い、それを体現する存在となることです。大学では、芸術文化学と国際関係

この度は、2025年度OEJAB派遣員に選抜していただき、ありがとうございます。

このような貴重な学びの機会を頂戴したからには、自身の五感をフルに働かせ、多くのことを吸収してまいります。

私の目標は、文化芸術と対話を通じて、自ら「平和な共生社会」を創造する力を養い、それを体現する存在となることです。大学では、芸術文化学と国際関係



この度は、2025年度OEJAB派遣員に選抜していただき、ありがとうございます。

このような貴重な学びの機会を頂戴したからには、自身の五感をフルに働かせ、多くのことを吸収してまいります。

私の目標は、文化芸術と対話を通じて、自ら「平和な共生社会」を創造する力を養い、それを体現する存在となることです。大学では、芸術文化学と国際関係



この度は、2025年度OEJAB派遣員に選抜していただき、ありがとうございます。

このような貴重な学びの機会を頂戴したからには、自身の五感をフルに働かせ、多くのことを吸収してまいります。

私の目標は、文化芸術と対話を通じて、自ら「平和な共生社会」を創造する力を養い、それを体現する存在となることです。大学では、芸術文化学と国際関係

この度は、2025年度OEJAB派遣員に選抜していただき、ありがとうございます。

このような貴重な学びの機会を頂戴したからには、自身の五感をフルに働かせ、多くのことを吸収してまいります。

私の目標は、文化芸術と対話を通じて、自ら「平和な共生社会」を創造する力を養い、それを体現する存在となることです。大学では、芸術文化学と国際関係



この度は、2025年度OEJAB派遣員に選抜していただき、ありがとうございます。

このような貴重な学びの機会を頂戴したからには、自身の五感をフルに働かせ、多くのことを吸収してまいります。

私の目標は、文化芸術と対話を通じて、自ら「平和な共生社会」を創造する力を養い、それを体現する存在となることです。大学では、芸術文化学と国際関係



この度は、2025年度OEJAB派遣員に選抜していただき、ありがとうございます。

このような貴重な学びの機会を頂戴したからには、自身の五感をフルに働かせ、多くのことを吸収してまいります。

私の目標は、文化芸術と対話を通じて、自ら「平和な共生社会」を創造する力を養い、それを体現する存在となることです。大学では、芸術文化学と国際関係

ていなかった、あるいは見ようとしてこなかった現実に真摯に向き合います。そして、分断が広がる国際社会の中で、文化芸術という糸を用いて、人や社会全体を丁寧に紡いでいける存在になることを目指します。

最後に、平和とは何でしょうか？ この短い文章の中で明確な答えを書き上げることは難しいですが、私は、誰かとお茶を囲み、和敬清寂の精神のもとで対話を交わし、互いを大切に思える心のつながりこそが、平和への緒になると考えています。6歳の頃から茶道をはじめ、その中で、誰かと茶を共にすることが持つ力、そして対話を促す空間としての可能性を、身をもって実感してきました。

今回のオーストリア訪問を通じて、これまでの経験や考えをより深く、国際的な文脈の中でより説得力のあるものへと昇華できるよう、誠心誠意取り組んで参ります。

互いの視点を持ち寄り共に学ぶ

大阪大学医学部
3年

森澤 茉由

この度は、2025年度友愛会のオーストリア派遣プログラムに参加する機会をいただき、心より感謝申し上げます。また、このような貴重な学びの場を準備してくださった友愛の皆様、講師の方々に深く御礼申し上げます。

事前勉強会では、友愛の理念を改めて深く学ぶと

この度は、2025年度友愛会のオーストリア派遣プログラムに参加する機会をいただき、心より感謝申し上げます。また、このような貴重な学びの場を準備してくださった友愛の皆様、講師の方々に深く御礼申し上げます。

事前勉強会では、友愛の理念を改めて深く学ぶと

この度は、2025年度友愛会のオーストリア派遣プログラムに参加する機会をいただき、心より感謝申し上げます。また、このような貴重な学びの場を準備してくださった友愛の皆様、講師の方々に深く御礼申し上げます。

事前勉強会では、友愛の理念を改めて深く学ぶと

この度は、2025年度友愛会のオーストリア派遣プログラムに参加する機会をいただき、心より感謝申し上げます。また、このような貴重な学びの場を準備してくださった友愛の皆様、講師の方々に深く御礼申し上げます。

事前勉強会では、友愛の理念を改めて深く学ぶと

この度は、2025年度友愛会のオーストリア派遣プログラムに参加する機会をいただき、心より感謝申し上げます。また、このような貴重な学びの場を準備してくださった友愛の皆様、講師の方々に深く御礼申し上げます。

事前勉強会では、友愛の理念を改めて深く学ぶと

もに、カレルギー伯の人生を軸にヨーロッパの思想運動について理解を深めました。また、sympathyをメインターマとした思想についてのお話を伺い、その思想主義的背景に触れる貴重な機会となりました。理系を専攻する私にとって、いずれも新鮮で大変興味深い内容であった一方、思想や主義に対する理解がまだ十分でないことを強く自覚する機会となりました。

午後には、写真資料を交えながら第二次世界大戦広島・長崎の実態についてのお話を伺いました。提示された写真はいずれも強い印象を与えるもので、戦争の悲惨さを改めて実感するとともに、平和の尊さについて考える気持ちが一層深まりました。

勉強会では、これまでの私は自分の専攻分野である医学においてどのような人々に貢献するかという観点のみで物事を捉えていたことに気づかされる機会となり、思想や歴史、社会の在り方を理解することが不可欠であると実感しました。

「環境との対話」のために

国際教養大学国際
教養学部2年

佐藤 廉太朗

移民・難民問題は、転換点を迎えています。自らの意思に関わらず、人々が世界中で「移動」することが当たり前になる中、移動先での言語・文化・宗教の違いは、彼らの生活に高い壁を築きます。近年、住民間の摩擦や排外感情の高まりによって、彼らはしばしば「秩序を乱す存在」として語られることもあり、共生への道は遠くなる一方で

移民・難民問題は、転換点を迎えています。自らの意思に関わらず、人々が世界中で「移動」することが当たり前になる中、移動先での言語・文化・宗教の違いは、彼らの生活に高い壁を築きます。近年、住民間の摩擦や排外感情の高まりによって、彼らはしばしば「秩序を乱す存在」として語られることもあり、共生への道は遠くなる一方で

移民・難民問題は、転換点を迎えています。自らの意思に関わらず、人々が世界中で「移動」することが当たり前になる中、移動先での言語・文化・宗教の違いは、彼らの生活に高い壁を築きます。近年、住民間の摩擦や排外感情の高まりによって、彼らはしばしば「秩序を乱す存在」として語られることもあり、共生への道は遠くなる一方で

移民・難民問題は、転換点を迎えています。自らの意思に関わらず、人々が世界中で「移動」することが当たり前になる中、移動先での言語・文化・宗教の違いは、彼らの生活に高い壁を築きます。近年、住民間の摩擦や排外感情の高まりによって、彼らはしばしば「秩序を乱す存在」として語られることもあり、共生への道は遠くなる一方で

移民・難民問題は、転換点を迎えています。自らの意思に関わらず、人々が世界中で「移動」することが当たり前になる中、移動先での言語・文化・宗教の違いは、彼らの生活に高い壁を築きます。近年、住民間の摩擦や排外感情の高まりによって、彼らはしばしば「秩序を乱す存在」として語られることもあり、共生への道は遠くなる一方で

民連携の観点から研究・活動が続けられました。派遣先のOEJABでは、生活援助・職業訓練・語学教育という移民に不可欠な支援を包括的に提供し、彼らの地域社会での自立に貢献します。そこで生活する方々や、支援者の方々との対話を通じて、被支援者のニーズ、抱える問題、支援側から見る現状の課題点、政府やBBU GmbH、他機関との連携などについて理解を深め、課題を改善しよりよい支援モデルを考案します。

先日参加させていただいた事前勉強会・懇親会での、理事の先生方による講義や、財団メンバーの方々の先輩派遣員の方々との対話は、どれも私に新たな視点を与えてくれるもので、刺激的な時間を過ごすことができました。何より、初めて顔を合わせた同期派遣生は、それぞれが深い知的好奇心を持ち合わせ、バックグラウンドや将来の夢を語ってくれました。これから彼らと研修に参加することとを心待ちにするとともに、友愛ユニオンのメンバーとして歓迎して下さったことに心より感謝いたします。

私がフィールドワークでもっとも大切にしていることは、「環境との対話」です。派遣の中で、難民の方々、支援者、現地住民、



移民・難民問題は、転換点を迎えています。自らの意思に関わらず、人々が世界中で「移動」することが当たり前になる中、移動先での言語・文化・宗教の違いは、彼らの生活に高い壁を築きます。近年、住民間の摩擦や排外感情の高まりによって、彼らはしばしば「秩序を乱す存在」として語られることもあり、共生への道は遠くなる一方で

専門家や有識者、そして同

期派遣生や友愛の方々な

ど、多くの人と言葉を交わ

すでしょう。そんな時、た

だ彼らの言葉を耳で聞き、

そのまま記憶するのではな

く、彼らのいる場所、地

域、国、社会、彼らのこれ

まで歩んできた人生、そし

て彼らが未来に求めるも

の。ひとりひとりを取り巻

くそれらの「環境」に目を

向けてこそ初めて、その人

の言葉が持つ意味について

思惟を巡らすことができる

と考えています。それぞれ

が置かれる環境を正しく理

解するために、この問題に

関する知識はもちろん、言

語や文化の学習にも取り組

み、万全を期して派遣に臨

む所存です。

改めてこの度、2025

年度派遣員としてご選出い

ただき、誠にありがとうございます。

今回の派遣の機

会を、単なる経験としてで

はなく、将来この課題を解

決するための確かな学びの

場に必要なという、谷藤先

生のお言葉を指針とし、全

力で取り組んで参ります。

ウィーンは、かつてのハ

プスブルク帝国の都で、政

治・文化の中心として知ら

れています。一方で、現在

の視点から見れば、ウィー

ンは英仏独を中心とする西

欧世界の「中心」からはや

や距離を置いた、ヨーロッ

パの周縁に位置する都市で

あります。そうした場所

だからこそ、多民族・多文

化が交差し、独自の社会や

文化が形成されてきたので

はないかと感じています。

これまで日本や東南アジ

アを主なフィールドとして

きた私にとって、ウィーン

は文化的にも歴史的にも大

きく異なる街です。現地の

食文化や芸術、宗教、日常

の風景に触れながら、まず

はこの街を実際に体験し、

理解を深めたいと考えてい

ます。

また、人口の約三割が外

国人とされるウィーンで

います。今回の派遣では、

OEJABでの活動や、国

連機関、現地で活動されて

いる方々のお話を通じて、

ウィーンがどのように多様

性と向き合ってきたのかを

学んでいきたいと思います。

世界を新たな

視点で見直す

大阪大学法学部

4年

伊藤 里彩

はじめに、この度OEJ

AB派遣員に選抜いただき

ましたことにお大変光栄に感

じますとともに、心より感

謝申し上げます。

私がこのOEJAB派遣

に際して目標としているこ

とは世界を新たな視点で見

直すことです。大学生活の

中で、私は主にアジアの

国々や移民問題に関心を向

けてきました。しかし、ニ

ュース記事の執筆をきっか

けに、いかに日本的な視点

から世界を見ているのかと

いうことに気付かされまし

た。

現在世界では約3億人が

深刻な食料危機に直面して

いますが、昨年度日本でこ

の問題に関する報道は十分

に報じられませんでした。

一見すると日本の社会に影

響のない問題だからです。

しかし、実際には食糧危機

は難民や移民の発生をもた

らすと同時に、遠く離れた

日本にも食糧の価格高騰を

もたらすことのある重要な

問題です。このように日本

という狭く短期的な視点に

固執すれば、現実は見えに

くくなります。

この問題意識は自分の異

文化理解への姿勢にも影響

をもたらしました。だから

こそ私は、OEJAB派遣

を通じて、慣れ親しんだア

ジアという枠組みや日本中

心の視点を離れて異文化理

解について一度相対化した

いと考えています。移民や

難民という歴史・民族・経

済などが複雑に絡み合った

問題と、オーストリアとい

う国家やOEJABという

組織・そこで働く人々がい

かに向き合ってきたのかを

知ること、私自身もこれ

から異文化にどのような姿

勢で向き合うべきか新たな

視座を得たいと思います。

また、卒業を間近に控え

たこのタイミングで、新た

に物事を深く学ぶ機会が与

えられたことを非常に幸運

に感じています。この機

会を無駄にすることなく、

共にオーストリアへ向かう

7人の仲間と考えたことや

感じたことを共有し合いな

がら、自分自身の成長に繋

げられるように全力を尽く

したいと思っています。

マクロな視点と

ミクロな視点

東北大学法学部

2年

田口 郁子

ける共生社会のあり方につ

いて捉え直したいと考えて

います。

また、昨夏エストニアを

訪れた際には、国際情勢に

対して市民一人ひとりが主

体的に向き合う姿を目の当

たりにしました。この経験

から、国際情勢や政治的決

定のような私たちの生活に

は遠く感じる出来事を考え

る際にも、身近な場面に与

える影響に思いを巡らせる

必要性を強く感じていま

す。特に難民や核兵器など

の問題については、私自身

もマクロな視点から捉える

ことが多かったように思い

ます。本派遣プログラムで

は、OEJABによる難民

支援の現場やCTBTOへ

の訪問を通して当事者の

方々から率直な意見を伺

い、ミクロな視点を補いた

いと考えています。

私の将来の目標は、マク

ロな視点とミクロな視点の

双方を活用し、日々を普通

に暮らす一人ひとりが安心

して暮らせる社会をつくる

ことです。

グローバル化が進み、さ

らには情勢も不安定化する

今日において、私の目標の

達成のために多文化共生や

戦争に関する問題は避けて

は通れません。本研修で得

られる学びは、一人ひとりが

安心して暮らせる社会の

実現という私の目標を達成

するために、必ずや大きな

人々が共存する社会や、そ

れを支える地域社会の基盤

について直接見聞きできる

ことを期待しています。そ

して、そこで得たミクロな

視点からさまざまな国の政

治や社会、そして日本にお

ける共生社会のあり方につ

いて捉え直したいと考えて

います。

また、昨夏エストニアを

訪れた際には、国際情勢に

対して市民一人ひとりが主

体的に向き合う姿を目の当

たりにしました。この経験

から、国際情勢や政治的決

定のような私たちの生活に

は遠く感じる出来事を考え

る際にも、身近な場面に与

える影響に思いを巡らせる

必要性を強く感じていま

す。特に難民や核兵器など

の問題については、私自身

もマクロな視点から捉える

ことが多かったように思い

ます。本派遣プログラムで

は、OEJABによる難民

支援の現場やCTBTOへ

の訪問を通して当事者の

方々から率直な意見を伺

い、ミクロな視点を補いた

いと考えています。

私の将来の目標は、マク

ロな視点とミクロな視点の

双方を活用し、日々を普通

に暮らす一人ひとりが安心

して暮らせる社会をつくる

ことです。

グローバル化が進み、さ

らには情勢も不安定化する

今日において、私の目標の

達成のために多文化共生や

戦争に関する問題は避けて

は通れません。本研修で得

られる学びは、一人ひとりが

安心して暮らせる社会の

実現という私の目標を達成

するために、必ずや大きな

人々が共存する社会や、そ

れを支える地域社会の基盤

について直接見聞きできる

ことを期待しています。そ

して、そこで得たミクロな

視点からさまざまな国の政

治や社会、そして日本にお

ける共生社会のあり方につ

いて捉え直したいと考えて

います。


また、昨夏エストニアを

訪れた際には、国際情勢に

対して市民一人ひとりが主


体的に向き合う姿を目の当





謹賀新年

公益財団法人 友愛



株式会社 ニッセーデリカ

会長 川手 正一郎

機能性セラミックの用途開発と磁器の芸術を追究する岩尾グループ

IWAO 十四代 岩尾 對山 窯

代表取締役社長

岩尾 慶一


岩尾磁器工業株式会社 岩尾エンジニアリング株式会社
佐賀県西松浦郡有田町外尾町丙1436-2 TEL 0955-43-2111 FAX 0955-42-5205
佐賀県西松浦郡有田町大樽2丁目1番5号 TEL 0955-42-5841 FAX 0955-43-2661

ホームページアドレス <http://www.iwao.co.jp/>

上毛資源株式会社

取締役 会長 佐伯 詔一

〒371-0857 群馬県前橋市高井町1-13-4
TEL027-251-7395 FAX027-251-7337
URL:<http://www.j-shigen.co.jp>



ご宴会・ご婚礼・レストラン・ケータリング

〒110-8715 東京都台東区上野公園4-58
TEL 03-3821-2181 代

上野精養軒 since 1872

上野精養軒ホームページはQRコードよりご覧ください

VIAX
FOR CREATIVITY AND RELIABILITY

代表取締役社長

西門 直

株式会社 **ヴィアックス**

本社 東京都中野区弥生町2-8-15 〒164-0013
TEL:03(3299)6010 FAX:03(3299)6004
本郷本部 東京都文京区本郷4-9-25 貞成館ビル 〒113-0033
TEL:03(3815)3788 FAX:03(3815)3135
URL <https://www.viax.co.jp>

毎夕新聞印刷株式会社

代表取締役 川島 慎也

〒113-0022 東京都文京区千駄木3-45-2
TEL03-3823-8511
FAX03-3822-0304

LIVECAST Since1996

Made with Passion

情熱 × デザイン で
Webサイトを制作します

ライブキャスト株式会社
東京都港区北青山 2-12-8 BIZ SMART 青山
www.livecast.co.jp

あなたの気持ちを印象にそえて
はんこのプレゼント

**大切なもの
大切な人へ
Present**

ふみ みやこ
文の京にふさわしいこだわりと心

有限会社 **山崎印房** ・印章・ゴム印
・感謝状
・表彰状
・の筆耕

〒113-0033 東京都文京区本郷4-17-5
Tel.03-3811-2876 Fax.03-3816-4759

司法書士法人
日本橋総合登記事務所

司法書士 初瀬智彦
司法書士 霜田州子

Tel 03-3561-1155

公認会計士 税理士

小林 広治

横浜FCオフィシャルパートナー
平倉社会保険労務士事務所


特定社会保険労務士 平倉 康司

☎ 03-3814-3138

理事長

内田 由利子

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-2-3
アライヴ人形町
☎ 03-3249-6788 FAX 03-5695-0125
☎ 090-3042-7818
web site : <http://djkg.org/>
email : y.uchida@djkg.org



鳩山会館
<https://www.hatoyamakaikan.com>
文京区音羽 1-7-1

公益財団法人 友愛

評議員 萩原 直三

〒154-0003 世田谷区野沢2-33-5-1107

ご要望に合わせておつくりします

こだわりを持ち続けて
静岡茶 小林園

お茶のご用命は
Tel 054-352-3923

一般財団法人 東アジア共同体研究所
East Asian Community Institute, World YUAI Forum

世界友愛フォーラム

理事長 鳩山由紀夫

公益財団法人 友愛

理事長 **鳩山 由紀夫**

〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13
TEL03-5684-3188 FAX03-5684-3186

公益財団法人 友愛

理事 **攪上 哲夫**

〒112-0002 東京都文京区小石川 1-10-13
TEL03-5684-3188FAX03-5684-3186

公益財団法人 友愛

理事 **井田 安信**

〒112-0002 東京都文京区小石川 1-10-13
TEL03-5684-3188FAX03-5684-3186

公益財団法人 友愛

理事 **西川 伸起**

〒112-0002 東京都文京区小石川 1-10-13
TEL03-5684-3188FAX03-5684-3186



サロンホール
(掲載順不動)



外観

北の季節を楽しむ家
友愛ファームゲストハウス

北海道夕張郡栗山町鳩山 538 番地
TEL 0123-76-9810/FAX 0123-76-9809

ゲストルーム 6 室、大浴場、サロンホールを備えています。
<https://www.yuai-farm.com>

 宿泊予約等の
詳細はこちら

You & I FARM GUEST HOUSE

◆年末に恒例の友愛ユニオン勉強会・懇親会を開催しました。詳細は次号で、その折りがついた事があります。七不思議ならぬ「三不思議」です。現在友愛ユニオンメンバーは50数名になります。ワイイ！一つ目、その50名の中に、石川県の出身者が5名もいるのです。約一割。二つ目、医療関係従事者が10名。約二割。三つ目は、同じ職場（JBIIC）のメンバーが3名、そのOBである西川理事を入れると4名です。これは不思議を超えています。西川理事の言を借りれば「理念に親和性があるから」とのこと。国際協力銀行も医療も確かに「愛」が要です。すると、石川県出身者は、友愛・愛に溢れているのですね。（も）

編集後記

2025年度 年会費納入のお願い

公益財団法人友愛の活動は、皆さまの会費で支えられております。今月号に同封の振込用紙をご利用いただき、2025年度会費の納入をお願いいたします。

（郵便法の決まりから、お願いのお手紙を同封することができません。悪しからずご了承賜りますようお願い申し上げます）

*2026年1月1日以降にお振り込みいただいた年会費は、2026年の税額控除の対象となります。年度とは異なりますのでご注意ください。